

発言No.

7

受付No.

16

令和 6 年 11 月 22 日
9 時 50 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 17 番

氏名 永見 利久

答弁を求める者
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長
公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、中山間地域等直接支払制度について

生産条件の不利な傾斜地の営農継続を支援する中山間地域等直接支払制度について、加算措置が廃止される「集落協定広域化加算」、「集落機能強化加算」、「生産性向上加算」に関連した質問をする。

(1) 集落協定広域化加算について

他の集落内の対象農地を含めて協定を締結し、協定に基づく活動において主導的な役割を担う人材を確保した取組みなどがある。

① 「集落協定広域化加算」組織の取組み状況について伺う。

② 「集落協定広域化加算」の廃止後の対応について伺う。

(2) 生産性向上加算について

加算の対象となる生産性向上を図る取組みとして、農産物のブランド化・担い手への農用地集積、機械、農作業の共同化・農作業の省力化などがある。

① 「生産性向上加算」組織の取組み状況について伺う。

② 「生産性向上加算」の廃止後の対応について伺う。

(3) 集落機能強化加算について

新たな人材の確保や集落機能を強化する「集落機能強化加算」の対象活動として、インターンシップ、営農ボランティア、農福連携、また、コミュニティーサロンの開設や、地域自治機能強化活動(高齢者の見守り、送迎、買い物支援、雪下ろし等)などがある。

① 「集落機能強化加算」組織の取組み状況について伺う。

② 「集落機能強化加算」で、これまで高齢者の見守りや送迎、買い物支援など営農以外の分野にも取り組んできた。この加算項目の廃止には、集落を維持できるかという不安の声もあるが、廃止後の対応について伺う。

③ 廃止後の、農村型地域運営組織(農村 RMO)との関連について伺う。

④ 新たな加算について、地域への説明について伺う。

⑤ 棚田地域振興活動加算、超急傾斜農地保全管理加算の今後の対応について伺う。

2、美又温泉・旭温泉の振興について

美又温泉、旭温泉は浜田市を代表する観光資源であり、美又温泉は、温泉総選挙で2023年と2024年に「美肌部門」第1位を獲得、また、旭温泉は「歴史・文化部門」で第1位を獲得し、泉質の良さは浜田市民、そして県内外の多くの方々からも認められている。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者の低迷期間が長く続いていたが、昨年感染症5類に移行、活動制限の緩和を受け、美又温泉と旭温泉の観光客も回復傾向と思う。

私は、令和4年に「美又温泉の活性化」について質問している。今回は、それぞれの温泉の、「美肌」、「歴史・文化」をテーマとした観光資源の活用について質問する。

(1)美又温泉における美肌資源の活用について

- ①活動制限緩和後の利用者の状況について伺う。
- ②温泉総選挙「美肌部門」2年連続第1位を生かし、今後新たに「美肌」をテーマとして、入込客を増やす企画やPRについての考えを伺う。

(2)旭温泉における歴史・文化資源の活用について

- ①活動制限緩和後の利用者の状況について伺う。
- ②温泉総選挙「歴史・文化部門」第1位を生かし、今後の企画やPRについての考えを伺う。

(3)美又温泉の活性化について

美又国民保養センター温泉施設の整備は入込客を増すには効果的であると思う。その他に、集客効果に繋がる、宿泊や飲食施設の取組みも必要ではないかと思い質問する。

- ①温泉施設整備に伴う、集客のコンセプトについての考えを伺う。